

# インドネシア研修

2023/9/4~9/11



# インドネシア研修 ムービー

# コンテンツ

1. 研修の目的・想い
2. インドネシアの概要
3. 研修内容
4. 研修を通しての気づきと学び
5. 研修後の意識の変化
6. 謝辞



# 研修行程表

日数	日付	曜日	旅程	学習、交流メニュープラン等
1	9月4日	月	18：30関西空港集合 23.25関西空港発	
2	9月5日	火	4：40シンガポール着 7：05ジャカルタ着 バスにて、スカルノハッタ国際空港 からバンドンへ	スカルノハッタ国際空港からSTBAのバ スでバンドンへ。 ホテルチェックイン。STBA表敬訪 問。
3	9月6日	水	STBA Yapari Aba Bandungでの活動	交流メニュー ・互いにプレゼン発表。 ・インドネシア文化体験等。
4	9月7日	木	STBA Yapari Aba Bandungでの活動	・文化交流（日本とインドネシアの民 族衣装など）。
5	9月8日	金	フィールドトリップ	郊外・市内観光
6	9月9日	土	ホームステイ体験	午前 STBAでホストファミリーと顔合 わせ。1泊2日のホームステイ。
7	9月10日	日	シンガポール航空 14：10ジャカルタ発 17：00シンガポール着	ホストファミリーとSTBAに。 大学からバスでスカルノハッタ国際空 港へ。 シンガポール観光
8	9月11日	月	01：25シンガポール発 08：50関西空港着	到着後、解散。

# 1.研修の目的・想い

## 目的

1. 対面ならではの国際交流を深める
2. 日本文化を伝え、インドネシアの文化を理解する（異文化理解）
3. 多宗教国家であるインドネシアの習慣や尊重の気持ちを学ぶ

## 想い

4年前からオンラインで繋がった人たちと、実際に会って対面で交流してみたいと思った

## 2.インドネシアの概要

名称：インドネシア共和国

面積：約192万km<sup>2</sup>（日本の約5倍）

人口：約2.7億人

首都：ジャカルタ

気候：乾季・雨季

通貨：インドネシアルピア

宗教：イスラム教約80%

キリスト教約10%

ヒンドゥー教、仏教、儒教、その他

民族：約300（多民族国家）



# インドネシア到着後

- ・ ヤパリアババンドン外国語大学(STBA)を表敬訪問
- ・ キャンパスツアー



## ヤパリアババンドン外国語大学 STBA YAPARI-ABA BANDUNG

1963年10月26日にバンドン YAPARI 外国語アカデミーが創立され、時代とともに形を変えて現在のヤパリアババンドン外国語大学 (STBA YAPARI-ABA BANDUNG) となった

現在設置されている学科

- ・ 英語学科
- ・ フランス語学科
- ・ ドイツ語学科
- ・ 日本語学科

## ↓スンダ料理のレストランで歓迎会（Sindang Reret）



ごはんがバナナの葉に  
包まれている

カフェで歓談↓



# STBA日本語学科学生の発表

## パフォーマンス



## さくら踊り



## ソーラン節



# STBA日本語学科学生の発表

## プレゼンテーション

- スンダ民族について

スンダ民族とは、ジャワ島西部に居住する民族  
スンダ語を話し、大部分が厳格な信仰を守ろうとする  
イスラム教徒



## スンダ民族伝統衣装

男性



ブスカップ

女性



クバヤ

サロン

- スンダ民族衣装着用



## ドイツ語学科



- ・ドイツの伝統舞踊  
ポルカ

- ・フランスの  
文化について

## フランス語学科



- ・伝統楽器アングルン
- ・昔ながらのゲーム  
の紹介

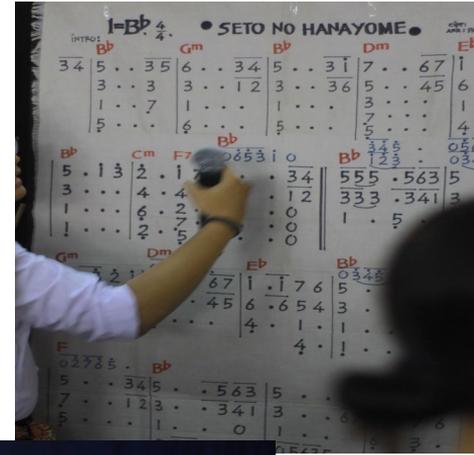
## 英語学科



インドネシアの  
伝統的打楽器アングルン↓



アングルン合同演奏



インドネシア語学習





STBAの学生とスンダ民族式の食事



# OIU学生の発表

## ・着物、浴衣の発表



発表準備で何度もミーティングを行い、  
本番に臨んだ

- 着物、浴衣の歴史、文化についての発表を行った
- ↓
- 現地の先生、学生方の、日本文化を知りたいという想いを強く実感した



私たちも日本文化の魅力を更に伝えたいと思った



# 浴衣の着付け



# 5日目

## バンドン市内観光バス

### ジャワティ工場見学



### 茶畑見学



### 温泉



### レンガス吊り橋



### アジアアフリカ 通り

## グドゥンサテ

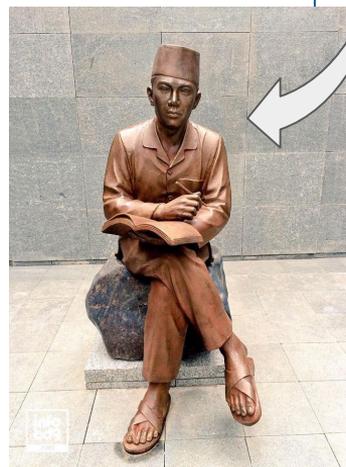
## バンチュイ・スカルノ 記念館



串焼きのサテに似た塔

### グドゥンサテ

イスラム教・キリスト教・ヒンドゥー教  
3つの宗教を尊重し3重の屋根を建設  
戦争時にバンドンに建設された（敵が少なかったため）



スカルノ大統領  
インドネシアの政治家  
独立運動を推進  
「建国の父」

バンドンにある大学に進学  
1929年 インドネシア独立運動  
のリーダーとして危険視されオランダ当局によって逮捕

1949年 インドネシア初代大統領  
に就任  
1955年 アジアアフリカ会議  
1963年 終身大統領となるが  
「九月三十日事件」未遂があり  
1967年 解任  
1970年 病死

# 6日目 HOME STAY!!





# ホームステイでの気づき

- 生活の一部としていたるところに祈祷室がある
- 日本食がインドネシアの食の一部に ⇒日本のチェーン店
- 日本語が通じない人とはジェスチャー  
⇒伝えたい気持ちがあれば通じる
- おもてなしの心を実感

# 7日目 バンドン最終日

ホストファミリーやSTBAの先生、学生とお別れの挨拶



# ○シンガポール観光

- ・マーライオン公園の散策

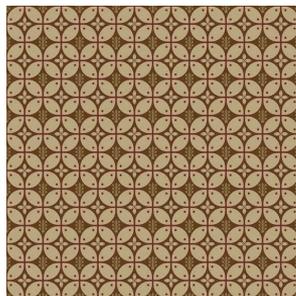
# ザ・フラートン・ホテルの エントランス見学



## 4.研修を通しての気づきと学び

日本と似ている部分も

⇒バティックと沖縄紅型



おもてなしのあたたかさ

⇒STBA到着後、ホームステイ

日本への興味の深さ

⇒日本文化の着物、浴衣にとっても興味を示してくださった

日本食が生活の一部に

信仰する宗教・男女のお祈りの時間・ライフスタイル・言語

⇒国民に根強い「多様性の中の統一」の精神

対面だからこそその深い交流

4年前からの交流

⇒4年前に交流した学生がホームステイのホストになって私たちを迎え入れてくださった

**海を越えた遠い国から 友達のいる国に**

## 5.研修後の意識の変化

★留学生との交流の場などに積極的に足を運び、日本の文化、異文化への理解を踏まえた国際交流をしたい気持ちがより強くなった

★インドネシア研修の経験を活かし更に、他の国にも関心を持ち視野を広げたい

★インドネシアの方々の日本への想いに触れ、まずは私たち自身がグローバル人材としての教養が必要だと感じた

# 謝辞

今回私たちは、大学からゴーベル奨学金をいただきました。

理事長先生、学長先生はじめ関係者の皆様

この度は、奨学金のご支援をいただきありがとうございました。

STBAの学長先生、アリ先生はじめご協力いただいた  
先生方と学生の皆様、本当にありがとうございました。



ご清聴ありがとうございました。

~ Terima kasih ~